

授業の実際 1 / 9

(1) 指導目標

「星の世界」の各声部の歌声や全体の響きを聴きながら、自分の声を友達の声と調和させて歌う学習に主体的に取り組むことができるようにする。

過程	学習活動	教師の指導 (○)、支援 (●)、発問 (★) 児童の主な反応 (・)	評価規準と評価方法
導入	0 音楽遊びをする。 1 めあてをつかむ。	○和音当てクイズをして、楽しく学習が始められるようにした。 ○修学旅行で見た星空の写真を提示し、美しい星空を想像させた。	
展開	「星の世界」の曲の感じをつかみ、主な旋律を歌おう。 2 曲の感じつかみ、自分はどうのように歌いたいか見通しをもつ。 (1) 「星の世界」を聴く。	○「星の世界」の歌詞を音読して聴かせ、写真を基に、歌詞の意味を説明した。 ○斉唱と三部合唱とを比較聴取させ、それぞれのよさや美しさについて考えさせるようにした。 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center; color: red; font-weight: bold;">発問の工夫①</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="background-color: #fce4ec; padding: 5px;">★今から2つの「星の世界」を聴きます。それぞれ、どのような星の世界を想像しますか。なぜ、そのように感じたと思いますか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>〔1回目〕 斉唱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・澄んだ星空。 ・星がきれいな夜空。 ・星が輝いている。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・主な旋律がはっきりしていて、声がぴったり合っているから。 ・歌詞が、はっきりと聴き取れるから。 </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p>〔2回目〕 三部合唱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれい！ ・星が多くて、まぶしい。 ・星の世界が、遠くて広い。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・三部合唱になっていて、大勢の音が響き合っているから。 ・歌声が響き合って、音楽にふくらみがあるから。 </div> </div> </div> </div>	
開	(2) 聴き取り、感じ取ったことを「音楽を形づくっている要素」と関連付けながら、曲のよさや美しさをつかむ。	○想像した「星の世界」を発表させ、それぞれの響きの美しさを全体で共有させた。 ○楽譜を見せながら本題材で使用する「星の世界」を聴かせ、斉唱と三部合唱のどちらの要素もあることに気付かせるようにした。 ○斉唱と三部合唱の部分があることに気付かせることで、「星の世界」の音楽の構造のよさに気付かせるようにした。	

展

(3) 曲の構造のよさや和声の美しさが伝わるように自分はどのように歌いたいか見通しをもつ。

○「星の世界」の音楽のよさや美しさについて考えたことをワークシートに記入させた。

発問の工夫①

★「星の世界」のよさや美しさについて考えてみましょう。

- ・三部合唱の部分と旋律が1つに重なる部分があって、両方のよさを生かして合唱することができる。
- ・三部合唱の部分は、和音がきれいだから、響きが美しい。
- ・3フレーズ目は旋律が1つに重なって声が一体化して響きが美しい。

○「星の世界」には、斉唱と三部合唱のどちらの部分もあることを確認し、どちらのよさも生かして合唱できることを伝えた。

○既習の「いつでもあの海は」(歌唱)の学習を振り返らせ、どのように歌いたいかについて見通しをもつことができるようにした。

「いつでもあの海は」

👉ここをクリック

○「星の世界」の楽譜を1つの旋律になる部分と3つの旋律が同じリズムで重なる部分に分けさせ、それぞれの部分の旋律の重なり方を確認した。

○「いつでもあの海は」の振り返りを基に、3つの旋律が重なっている部分は和声的な重なりで、3つの旋律は同じリズムであることを押さえ表現の工夫につなげさせた。

○それぞれの部分を、どのように歌いたいか各自で考えたことをワークシートに記入させた。

発問の工夫②

★曲のよさや美しさが伝わるように、どのように歌いたいですか。

- ・三部合唱の部分は、和音がぴったりと合うように、互いに声をよく聴いて、響き合うように歌いたい。
- ・三部合唱の部分は、3つの旋律のリズムを合わせて、溶け込むように歌いたい。
- ・三部合唱の部分は、和音がきれいに響くように、音程を正しく歌いたい。
- ・旋律が1つに重なる部分は、3つの旋律のリズムをぴったり合わせて、歌詞をはっきりさせ、一体になって歌いたい。

「星の世界」の各声部の歌声や全体の響きを聴きながら、自分の声を友達の声と調和させて歌う学習に見通しをもち、主体的に取り組もうとしている。

【関① ワークシート・行動観察】

開

展		<ul style="list-style-type: none"> ●どのように歌いたいか見通しをもつことができない児童には、友達の発表内容や板書内容を参考にさせた。 ○歌詞に着目して見通しを書いた児童の発表内容も、その価値を認めた。 ○1つの旋律に重なる部分と3つの旋律が重なる部分を、それぞれどのように歌いたいか考えたことを発表させ、共有できるようにした。 	
開	<p>3 音の動きに気を付けながら、主な旋律を歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○3回の聴取で主な旋律の大体を覚えた児童を紹介し、学習意欲を高めさせた。 ○歌詞を再度音読し、歌詞の意味を考えながら主な旋律を覚えることができるようにした。 ○見通しを基に、主な旋律の歌い方を工夫しながら歌うように助言した。 ○1、2、4フレーズ目は、反復になっていることを伝え、主な旋律を覚えやすくした。 ○CDに合わせて歌わせることで、旋律が1つになる部分と3つの旋律が重なる部分を意識して歌うことができるようにした。 ○高音から始まる出だしの発声や呼吸に気を付けて歌うと、更に豊かな響きになることを助言した。 ●音程やリズムをつかむことが難しい児童に対しては、鍵盤ハーモニカで演奏をして聴かせ、旋律をつかむことができるようにした。 	
／ ま と め	<p>4 次時の学習を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを振り返らせ、次時への意欲を高めるようにした。 	